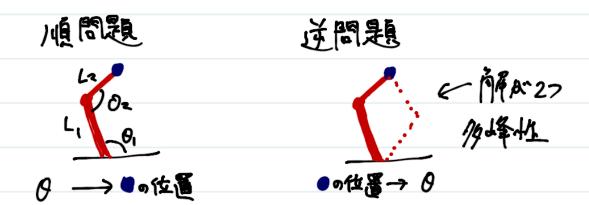
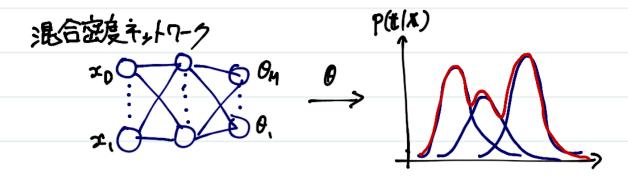
## 5.6混合密度キットワーク



P(t(X)に混合モデルを採用すれば良い.

$$P(t(X) = \sum_{k=1}^{K} \pi_k(x) N(t| M_k(x), \sigma_k(x) I) \quad (5.148)$$



混合作数 TLL (X) 医决定打出力 Ck: K個

カーれの中心が後へを決定する ( の要素Mu(K) )

合計(L+2)K個の出力→目標変数の郷→土期待値が予測する。

**混合** K: モデルの 要素数

し: 出んせの次え

· 混合体数 TL(X), 是TL(X)=1  $TL_{\mathbf{k}}(\mathbf{X}) = e^{a_{\mathbf{k}}^{\mathbf{T}}} / \sum_{k=1}^{K} exp(a_{\mathbf{k}}^{\mathbf{T}})$  · 特权 成(1) 20

誤差関数 
$$E(w) = -\sum_{n=1}^{N} T_k(x_n, w) N(t_n|_{\mathcal{M}_k}(x_n, w), \sigma_k^2(x_n, w) 1)$$

backpropagation z'ittozis.

$$\pi_{k}(x)$$
 老事前分布  $\Longrightarrow$  事致分布  $\gamma_{nk}(t_{n}(x_{n}) = \frac{\pi_{k}N_{nk}}{\sum_{x}\pi_{k}N_{n}}$  (5.(54)

を導入.